

ドキドキわくわく あたらしい本 えほん

2023.8

ぞうのこバナ

まどみちお さく 堀内誠一 え
世界文化ワンダーグループ

みなみのあついくにに、ぞうのこ
がいました。なまえは、バナといい
ます。バナが、ママといっしょにバ
ナナをたべに、やまへむかっている
ととつぜん、ものすごいたつまき
がおこり、ママとはぐれてしまいました。
そこで、バナはありといっしょ
にママをさがすたびにでます。

さあ、ママはぶじにみつかるで
しょうか。

こやたちのひとりごと

谷川俊太郎 文 中野和人 写真
アリス館

いろんなところに ぼくたちはたっ
ている。どこにもいかないよ。いつも
ここにいる。ぼくたちはからっぽで
ひとりでたっているけれど さびしく
なんかないよ。おひさまだって こと
りだって おつきさまにだってあえる
から。

きみにはどんなひとりごとがきこ
えるだろう。こやたちのひとりごとが
しゃしんといっしょにたのしめます。

低学年

ピクルスとともだち

小風さち 文 夏目ちさ 絵
福音館書店

しょうがくせい
ピクルスは小学生のこぶたです。
はる おおかせ
“春の大風”をさがしてあるいている
おな とし
と、同じ年ごろのこぶた、ジンブにであ
いました。

はじめてあそぶ^{やくそく}約束をして、虫^{むし}とり、
う 打ちあげ^{はなび}花火。こぶたのブスケも ^{なか}仲
ま 間にくわり、春のおとずれから、夏^{なつ}
のおわりまでを^{はる}すごす、心^{こころ}あたたまる
おはなしです。

こんにちは、アンリくん

エディット・ヴァシュロン 文
ヴァージニア・カール 文・絵
松井るり子 訳
徳間書店

アンリくんはフランスにすんでいて、か
ぞくがおおぜいいます。ねこのミシェルく
んもフランスにすんでいて、かぞくがおお
ぜいいます。

アンリくんとミシェルくんは、どちらもか
あさんにたのまれて、さかなをかいにで
かけました。ふたりがえらんだのは、お
なじさかなです。さあ、どうしましょう。

いつかの約束^{やくそく}1945山本悦子 作 平澤朋子 絵
岩崎書店

ゆきなとみくは、市民図書館^{しみんとしよかん}にいくとちゅうで、
両手^{りょうて}で顔をおさえて泣いているおばあちゃんを
みかけました。「どこかいたいの？おばあちゃん」と声をかけたら「おばあちゃんじゃないもん」と顔をあげました。名前をきいたら、「関根^{せきね}…すず」と答えて、9さいだと言います。ゆきなやみくと同じ年。さっきまでは手もしわしわでなくて、きゆうにおばあちゃんになったと泣いています。

みくとゆきは、9さいのすずの心と、おばあちゃんの体が入れ変わったのではないかと思
い、元の体を探してあげることにしました。

すいせい 彗星とさいごの竜^{りゅう}今井恭子 作 佐竹美保 絵
小学館

山奥^{やまおく}の小さな沼にひとりぼっちの飛べない竜^と
がいました。ママが死んでから泣き虫^{なむし}になって
毎日昼寝ばかりしていたところへ、小さな女
の子があらわれ、たたき起こされました。

「あなた、空を飛べるわよね？」と聞かれて竜
はショックを受けます。地球と衝突する彗星^{しゅうとつ}が
近づいていて人間の世界が大混乱^{だいこんらん}しているの
で、竜が天にのぼって世界を救う話を聞いて探
しに来たというのです。

しかし竜は女の子に言いました。「だめだよ。
悪いけど。ぼく、飛べない。飛べないから。」
竜と女の子の挑戦^{ちょうせん}が始まります。

高学年以上

エール！主人公なぼくら

室賀理江 作 ふるり 絵
文研出版

いちしだい 市橋大地は、五年生。真面目^{まじめ}で目立たず、
四年生の時に同じクラスの子からは「ほんっ
と、つまないやつ」と言われていた。

そんなぼくが、運動会の係決めの時、クラス
で人気者の斉藤陽介^{さいとうようすけ}から、応援団^{おうえんだん}に推薦^{すいせん}され
た。陽介と仲がよいと思われ、ここちよくなった
大地は、思わず応援団を引き受けてしまう。

引き受けたものの、しりごみしている大地の
心を変えたのは、義足のランナー、モロハシさ
んの走る姿だった。

どうして陽介は大地を推薦したのだろうか？
他にも、4編のお話があります。

ぼくはうそをついた

西村すぐり 作 中島花野 絵
ポプラ社

2005年。広島に住む小学5年生のリョウタ
は、同居しているシゲルじいちゃんから原爆^{げんばく}
で亡くなった大おじの話を初めて聞く。遺骨^{いこつ}はな
く、残されたのは遺品のナイフと、ほりかけの
木の小鳥だけだという。また、シゲルじいちゃん自身の原爆体験も聞き、爆心地から離れた場所でも、被害があったことにリョウタは驚く。

一方、一学年上のレイは、原爆で息子^{むすこ}を亡
くしているひいおばあちゃんのつらい思いを、
すこしでもかるくしてあげたいと思っていた。

リョウタとレイ、二人は身近な人が経験した
あの日のできごとを知っていく。